

水を大切にしよう

堀川 陽菜

鞍手町立 室木小学校

わたしは、遠賀川下流浄化センターの方々の実験やお話を通して、浄化センターは使った水をきれいにするすごいところなんだということが分かりました。

まず、水をきれいにするための実験を三回しました。一回目は、水のきれいさを数値や色で表す実験でした。見た目ではきれいかどうか分かりづらかったけど、数値で示したり特別な薬を入れて色が変わったりしたところを見ると川の水は思ったより汚れていることが分かりました。

二回目は、ティッシュペーパーとトイレットペーパーの溶けやすさの実験でした。実験の前のクイズでティッシュペーパーはトイレに流せるかという問題がありました。そこで、水の入ったペットボトルの中にティッシュを入れ、もう一つのペットボトルには、トイレットペーパーを入れて力いっぱいふりました。すると、トイレットペーパーは溶けたけど、ティッシュは何も変わりませんでした。わたしの予想と同じ結果でしたが、ティッシュが何も変わらないのは少しおどろきました。

最後の実験は、び生物の観察でした。4つのけんびきょうで、それぞれがうび生物を見させてもらいました。丸いび生物や長いび生物、形が似ているび生物もいました。わたしは、このび生物が川の中にいることやそれをとって浄化センターで使っていること、び

生物がよごれている水の中に入っているごみなどを食べていることを知ってとてもおどろきました。実際に、わたしたちが使った後の水のおいとび生物がきれいにした水のおいをかぎましたが、使った後の水はとてくさかったです。このにおいやよごれをとってくれるび生物はとてすごいなと思いました。

わたしは、これらの実験を通して、あらためて、水といっしょにごみなどを流さないようにしようと思いました。わたしは、これからごみを捨てないことはもちろん、水がなるべくよごれないように、自分でできることを考え、行動していこうと思います。そして、家族にもごみを流すと大変なことになることを伝えたいです。